



あかまつ

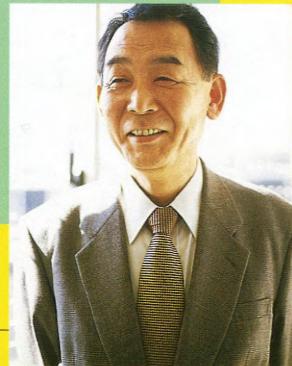
那須大学ニュース

Vol.7

平成14年3月30日(土)発行
発行/那須大学 広報委員会

開学4年目を迎えて

■都市経済学科長
原田 誠司 教授



那須大学は開学四年目を迎え、四学年の学生が揃い、予定された科目も全て開講されます。今年最も重要なのは、四年生が自分の望む就職・進学ができ、来年三月に無事卒業できることです。厳しい経済状況での就職活動ですが、大学は教職員あげて学生達を支援し



ますので、学生達には自分の志望を実現できるよう頑張ってほしいと思います。また、就職が決まっても卒業できなければ大変です。卒業に必要な単位数を確認し、必ず修得するよう気をくばってほしいと思っています。御家族の方々も学生諸君を支援してください。

■人名誤字訂正

第6号「リングオブフレンドシップ」執筆者名は「粕谷和弘」の間違い（「宏」は誤植）でしたのでここにお詫び致します。

(広報委員会)

私の
高校自慢
7
—最終回—



宇都宮短期大学附属高等学校

那須大学1年 池田 晴美

私の出身高校は明治33年栃木県初の女子高校として須賀栄子先生によって創立されました。現在は共学で「一人は一校を代表する」が生活目標です。

普通(特・進・英)、生活教養、情報商業、調理、音楽の五つの学科があり、私は普通科英進コースの生徒として三年間英語を中心とした勉学生生活を送りました。朝学校に行くと、黒板に英文がぎっしり書き込まれており、それを辞書を片手に訳すというのが英進の日課となっていました。

おかげで語彙が増え、徐々に辞書を引く回数が減り、力がついたことを実感できました。また、年二回の英語スピーチコンテストで、上手な人

のスピーチを聞くだけでもヒアリング力がついたよう



に思います。

大学一年目の

昨年十二月にニュージーランドでホーム・ステイと語学研修で一週間を過ごしました。この滞在は、一年間の留学をしようと考えている私にとっては、下見の意味をもつものでした。すると、思っていた以上に英語が通じたのです。これで、来年の留学に自信をもつことができました。同時に、宇短附での三年間の蓄積が大きいなども感じました。

那須大学ではこんな科目を学ぶ・7

都市と企業行動



深澤 郁喜
教授



私のゼミはこんなゼミ・6

会計学ゼミ 鈴木 博 教授

資本主義経済においては、株式市場は重要な役割を果たしています。それは、株式会社企業が事業活動をおこなうために必要な資金を株式市場で手に入れる(調達する)ことができ、それによって経済活動が活発におこなわれる道を開いているからです。

この場合、資金は投資家の投資(出資)の形で提供されます。投資家はその投資によって損をしたくないので、自らが損をしないように信頼に値する企業への投資を考えます。そのため投資家は企業をより良く知る必要がありますが、その情報を提供する主なものとして貸借対照表、損益計算書そして近年ではキャッシュ・フロー計算書と呼ばれる財務諸表があります。このような財務諸表を作成・伝達するまでの記録・計算を含む過程を会計といいます。

上に述べた企業と投資家との関係は、一方で両者の間の私的な関



係という側面としてみることができます。他方で資源の配分の問題という経済全体に係る側面をもっています。それは、投資家は効率的に資源を用いてくれる企業を選ぼうとするからです。したがって、会計に係る問題を考え、理解を深めることは経済のグローバル化が進展する今日では特に重要になってきています。

ゼミでは、このような会計を勉強し、深めていくことをめざしています。二・三年次のゼミでは、アジアからの留学生が約1/3の数を占め、中でも女子留学生が活発です。WTOに加盟することとなつた中国を始めとする国の留学生が母国に戻りゼミで培った会計の知識や考え方を駆使して活躍するようさらに指導を続けたいと考えます。いつも日本人学生諸君もいつしょに前進する事を期待しています。

学生の目線から
ゼミナールを語ってもらいます

ゼミの
仲間たち
1

『木下ゼミ』

二年連続大学祭で研究成果を発表している木下ゼミ。テーマは“魅力あるまちづくり”。「大学祭での発表という目標を定めたことでやる気も出だし、研究進行につながったと思う。勉強したことを集約して説明する力もついたと思う。」授業では、そのときどきのホットな社会・経済問題について討論したり、工場見学もするそうです。「工場見学は勉強になった。作業行程を実際に見て、機械にせよ、人にせよ、いかに効率よく動かすか、社会システムの縮図を見るようだつた。」とのこと。

最後にゼミ活動の感想…。「ゼミ活動を通じて、トータル的な知識の底上げができた。」、「人やまちづくりに対する興味が深まった。」、「地道な調査活動や大学は社会との接点であることを意識した勉強によって、問題解決に向けての応用力が養われていくのではないか、そうできれば…」と思っている。」

木下ゼミの皆さんからの「魅力あるまちづくり」への提言、期待しています！



初級システムアドミニストレータ試験に合格して

合格者に聞く

平成13年の初級システムアドミニストレータ試験について、橋本近君(3年)、千葉洋平君(2年)2名の学生が見事に合格しました。学生には不利といわれているこの試験への勉強方法を聞きました。

意外だったのは、試験対策としてもっとも役立ったことは「パソコンの組み立て」だったそうです。パソコンの組み立てには、「マザーボードの設定や拡張カード・ドライブの取り付け、ケーブルの接続等の知識が必要になり、日ごろからコンピュータ関連の本に目を通しておくことも必要」だからだそうです。普段の学生生活がそのまま資格取得のための基礎になっていたようですね。

情報処理試験
資格取得講座指導教員
中根勝行講師(談)

情報処理試験の中で初心者が受けているのが「システムアドミニストレータ(初級)」(略して、シスアド)の試験です。これは会社の仕事をよく知って、情報システム部の担当者と情報化について話し合える能力も必要とするものです。

この試験に合格したら、次の「基本情報技術者試験」への挑戦をすすめます。これはプログラム作成能力も加えたもので、この二つに合格すれば就職の資格としては有利(鬼に金棒)です。

(文責:編集部)

サークル紹介6

テニス —初心者でもテニスのおもしろさ、サークルの楽しさを実感。

テニスサークルは新入生勧誘活動の効果もあってメンバーの半数は一年生と活動があります。学内での定期的な練習の他、黒磯市のクラブチーム大会にも出場。昨年は那須町のスポーツ施設で夏合宿もしました。大学祭にもサークルとして三年連続参加。模擬店(やきそば)を出店して、売上も上々だったとか。大学祭では裏方の仕事も自主的に引き受け、縁の下の力

持ちの役割を担ったメンバーも多く、サークルの仲間としての結束は固いようです。「サークル」から「部」にしたいと語ってくれたのは畔上部長と次期部長の弘中君。経験者による親身な指導、和気あいあいとした雰囲気。初心者でもテニスのおもしろさ、サークルの楽しさを実感できるのにそう時間はかかるのでは…。



Voice

- ゼミに入って、日本経済や財政・金融政策の効果の勉強をし、学生同士で討論をして、**学問と現実の問題**を深く考えることができました。(河口勇輝 3年)
- 講義で高齢化社会について学び、福祉に興味を抱いて、今は、デンマークの福祉の勉強をしています。自分の意見をはつきり述べられる留学生の態度には刺激を受けました。
(岩村聖子 3年)
- 仕事と勉学の両立は苦しいが、仕事に関連強い科目の勉強は**充実**していました。(鹿野貴之 3年)

- 一年目苦手だった情報処理科目を、リベンジ精神で勉強してAを取り返せました。文芸部では詩、エッセイ、短歌・俳句の大字祭出展を、苦心してやり遂げ達成感を得ました。
(佐々木貴宏 2年)
- 生活の一番の基礎「日本語」は最もよく勉強をしました。留学して料理が作れるようになりました。(姜秋芳 2年)
- 情報処理を勉強して、音楽やゲームのCDを作るのが趣味になりました。違う国の友人が出来たことが良かったです。
(馬躍紅 2年)
- ヨーロッパの都市に興味があったので、「都市の歴史」はこれぞ勉強した!と言えます。(高田幸正 1年)
- 四月からソフトテニスのサークルを作ります。是非入会を。
(坂内真明 1年)
- 大学入学をきっかけに、経営している工務店の改革が出

■山や緑に囲まれた環境での勉強、生活は素晴らしいです。(多くの学生達の一致した声)



Topics

● 寄付をした学生に届く ユニセフから感謝状



昨年、大々的に報道されたのがあのアフガンの戦争でした。テロという卑劣な行為への報復とはいえ、大人の戦争にまき込まれた子供たちの悲惨な姿、けなげにがんばっている子供たち。彼らを何とか救ってあげたいと、けっして高額とはいえませんが、ユニセフへの寄付を思い立ちました。そこで、大学祭で、チャリティー「バザー」を行いました。販売する品は大学関係の多くの方々から協力を頂いたものです。『がんばっている人を応援しよう』のスローガンで、私たちは今後もこの「バザー」を続けていきたいと思っています。



「総合芸術研究会」の学生たち(談)